

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う山都町の方針について

本町の方針

本町においては、2月15日付熊本県独自の緊急事態宣言の解除を受け、熊本県の方針に準じ、以下の方針で対応する。なお、この方針については、今後の熊本県内の感染状況を勘案し適宜見直すこととする。

- 1 感染のリスクを高める環境 (①換気の悪い密閉空間 ②人が密集する ③近い距離で会話や発声が行われるという3つの条件が重なった場) を作らない、避ける。また下記に記載の**必要な感染症対策**を万全に行う。
- 2 感染が流行している県外への移動や深夜遅くまでの会合は控えること。
- 3 イベントについては、参加人数の上限5,000人以下、かつ、収容率50%以内での実施が可能。地域の行事、集会、お祭り等について、参加者の把握ができるイベントは、収容率100%以内での開催可能。但し大声での発声を伴うものは収容率50%以内で開催可能とする。
- 4 上記3について開催する行事や集会等について、参加者が1,000人を超える場合、施設管理者又はイベントの主催者は、熊本県新型コロナウイルス対策本部事務局(096-333-2478)に次の3つの資料を準備し、必ず事前相談を行い開催すること。(①開催計画書 ②感染防止対策の概要がわかる資料 ③責任者の連絡先)

【必要な感染予防対策】

1) 人が集まる場の前後も含めた適切な感染予防対策の実施

- 参加時に以下に該当する者には、参加を認めない。
 - ① 発熱や咳、喉の痛みなどの症状がある方
 - ② 過去2週間以内に発熱や感冒症状で受診や服薬等をした方
 - ③ 感染拡大している地域や国への訪問歴が14日以内にある方
- 体調不良の方が無理をして参加しないように、配慮をする。
- 参加者にこまめな手洗い、マスクの着用などを要請する。
- 人との間隔は、できるだけ2m(最低1m)空ける。
- 感染予防を事前告知し、会場内には参加者にも見えるよう張り紙をするなど周知に努める。
- 主に参加者の手が触れる場所(ドアノブ、手すり、スイッチ等)をアルコールや次亜塩素酸ナトリウム(ハイター等)を含有したものでふき取りを行事の前後に行う。

2) 集団感染発生リスクの高い状況の回避

- 換気の悪い密閉空間にしないよう、1時間に1回は2方向の窓を開けるなど換気を行う。
- 可能な限り参加者が密集しないような配席にする。入退場に時間差を設けるなど動線を工夫する。
- 大きな発声をさせない環境づくりをし、声援などは控える。

3) 感染が発生した場合の対応等

- 代表者は、参加者に連絡がとれる体制を確保する（出席者名簿等の作成）
- 参加した個人は、保健所などの間取りに協力する。また濃厚接触者となった場合には、接触してから2週間を目安に自宅待機の要請が行われる可能性があるため、それに応じる。

4) 食に関する感染予防対策のあり方

- 深夜遅くまでの飲酒や会食など、感染拡大につながる行動を控えること。
- 感染症対策を講じられていない店舗や飲食店の利用を自粛する

【町民皆様へのお願い】

- ア 症状が無くてもマスクを着用し、こまめな手洗いを実施。3つの密の条件の重なる場に出向かないなど基本的な感染症対策を継続して実践しましょう。
- イ バランスのとれた食事、適度な運動や散歩、休養、睡眠などの実践で自己の健康管理を十分に行い抵抗力を高めるようにしましょう。
- ウ 誰もが感染者、濃厚接触者になりうる状況であることを受け止め、偏見や差別につながるような行為のないようにしましょう。また信頼できる情報源の情報に基づき行動しましょう。
- エ スマートフォンをお持ちの方は、厚生労働省の新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）をダウンロードし、感染拡大防止のために積極的に利用しましょう。

【相談先】

☆新型コロナウイルス感染症のことで相談したい場合

コロナ相談センター：☎096-300-5909

☆発熱などの症状があり、受診する医療機関について相談したい場合

発熱患者専用ダイヤル：☎0570-096-567

日常生活の中で取り入れていただきたい『新しい生活様式』実践例

5月4日に厚生労働省より日常生活の中で感染症対策に取り組める「新しい生活様式」の実践例が公表されました。感染を拡大させないよう、実践を心がけましょう。

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

- 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける
- 遊びに行くなら屋内より屋外を選ぶ 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用
- 家に帰ったら手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える
- 帰省や旅行は控えめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする
- 地域の感染状況に注意する

(2) 日常生活を営む上での基本的な生活

- まめに手洗い・手指消毒 咳エチケットの徹底 こまめに換気
- 身体的距離の確保 「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- 毎朝体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



外出控え 密集回避 密室回避 密接回避 換気 咳エチケット 手洗い

(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画を立てて素早く済ませる
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

冠婚葬祭などの親族行事

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

(4) 働き方の新しいスタイル

※業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成予定

- テレワークやローテーション勤務 時差通勤でゆったりと オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン 名刺交換はオンライン 対面での打合せは換気とマスク